

## 平成 28 年度 第 2 回あわら市図書館協議会 会議録

- 1 日 時 平成 28 年 2 月 19 日 ( 金 ) 午後 2 時 ~
- 2 場 所 あわら市芦原図書館 会議室
- 3 会議日程
  - 1 開 会
  - 2 委員長あいさつ
  - 3 協議事項
    - (1) 平成 27 年度図書館事業報告 ( 1 月末現在 ) について
  - 4 その他
  - 5 閉 会
- 4 会議資料 会議次第
- 5 出席委員 児島悦子・土田多恵・近藤順子・前田恵美・桜井多恵子・岩佐 寛・  
蔵野幾夫・川崎扶美子
- 6 欠席委員 笹原美輪子・脇本和俊
- 7 委員以外の出席者
  - (所管課) 大代紀夫 ( 教育長 ) ・笹井和弥 ( 文化学習課長 )
  - (事務局) 能美進 ( 金津図書館長 ) ・松井博文 ( 芦原図書館長 )
  - 道官真由美 ( 芦原図書館主任 ) ・見野部素子 ( 芦原図書館司書 ) ・河村みゆき ( 金津  
図書館司書 )
- 8 傍聴者 なし
  
- 9 開 会 ( 事務局 : 開会を告げる。 )
- 10 教育長あいさつ ( 大代教育長 )

福井県は小中学生の学力がトップクラスであるが、小学校でのアンケートで読書が好きな子が少ないという課題があります。教育委員会として子どもの読書推進が非常に大切であると考えています。学校でのブックトーク、読みきかせなど地道な取り組みが大切です。ここで教育長は会議のため退席
- 11 委員長あいさつ ( 岩佐委員長 )

最近図書館のイメージが変わりつつあります。指定管理者、NPO, などが経営する図書館が全国比率で 10% あります。ツタヤの運営する武雄市図書館は選書問題で話題になりました。小牧市はツタヤ運営を住民投票で否決しました。出版社からは新刊書貸出禁止を求める動きがあります。図書館は地域の住民と結びつのが本来の大事な役割だと思います。
- 12 協議事項

規定により、岩佐委員長が議長となり会議を進める。  
事務局において、協議事項の(1) 平成 27 年度図書館事業報告(1 月末現在)について、説明を行う。
- 13 質疑応答
  - 議 長 利用状況は前年度と比べて減っているのでしょうか。
  - 事務局 芦原図書館、金津図書館とも横ばい状態です。
  - 委員 A レファレンスも司書の重要な仕事だと思いますが、レファレンスの数はどれくらいありますか。
  - 事務局 昨年度は金津図書館は 3 8 6 件、芦原図書館は数字を取っておりませんでした。今年度からはとっております。  
レファレンスと言っても、どういう内容をレファレンスとして数えるかによって数字はかなり違ってくると思います。
  - 委員 A 本の内容を少し聞いてきてもレファレンスになると思います。レファレンス件数も図書館の統計として必要だと思います。レファレンスのデータベース化も必要ではないでしょうか。

- 事務局 金津図書館はデータベース化しています。  
芦原図書館も入力しています。
- 委員 B 図書館のホームページでレファレンス内容をデータベース化したものを公開してもよいのではないのでしょうか。
- 委員 A レファレンス件数は今後、資料内容に付け加えていただきたいと思います。  
事務局 わかりました。  
議長 「蓮如さんかるた」であそぼうというのは、今年度の新しい取り組みですか？  
事務局 それは工作教室という名目の行事の一つです。 内容が1回1回かわります。  
委員 A 「おひざでホイホイ」は、いつごろから行っていますか。  
事務局 2年前からです。  
委員 C 本の修理ですが、破れた本などは、普通セロハンテープでくっつけていますが何かよい方法など講習会を設けていただけないのでしょうか。
- 事務局 セロハンテープでの修理は、図書館では行っておりません。破れの位置などによっては専用の道具などを使用したりと難しいものがあります。金津図書館ではのりを使って修理します。
- 委員 C 前向きに講座の検討をお願いします。
- 委員 D 図書館の利用数、貸出が増えない。読みきかせをされていて思うのですが、読み聞かせをしても本好きにならない。やはり、親が本を読まない子どもも読まないし、本好きにならない。図書館で大人（親）に本を紹介してもらって、まず親に本好きになってもらいたい。親の世代にも興味の持てる本を紹介してあげるべきではないのでしょうか。
- 委員 E 芦原中学校では11月の読書月間に親子で読んだらよい本の紹介をしたところ、「お母さんが読みたいから」と生徒が本を借りに来ていました。
- 委員 F あわら市では小学校、中学校、高校と朝読書を行っています。金津地区のある小学校では親子読書を推進していますが、この頃ややマンネリ化しています。  
議長 全国図書館協議会の調査でも、貸出数が減少しています。本を好きな子をつくるのが大切だと思います。
- 委員 F 金津地区の小学校でH26年度調査を行った結果、本が好き、やや好きな子供は80%で決して本が嫌いな子供が多いわけではありません。金津の生徒は小学校からの育成で本を選ぶ能力はあると思います。ただ、高学年になるにつれ、子供も忙しくなり本離れがあるようです。
- 事務局 昨年度、県内の図書館では全体的に貸出数が減少しています。が、あわら市は増加しています。他館ではほとんどないことです。その現状をふまえ蔵書を増やしたいと考えておりますので、予算面での配慮を課長にお願いしたいところです。  
貸し出しが横ばいというのは、人口は減少しているので、実際は増えていると考えてくださって結構かと思います。
- 委員 A 電子書籍の影響もあるのではないのでしょうか。  
事務局 本を横に置いておいて、電子書籍で読むという人もいますね。文字が拡大できるのは便利です。  
読書離れとスマホの普及は関係あるのではないのでしょうか。
- 委員 D 便利なものはいろいろなものを失わせてしまいます。
- 委員 B ブックトークは学校から依頼があっていくのでしょうか。  
事務局 そうです。
- 委員 B それでは、芦原図書館も依頼があればブックトークに行くのですか。  
事務局 依頼があれば行きます。今年度は学校の先生がブックトークを行っていたので、資料本の貸出はありましたが依頼はありませんでした。
- 委員 B 団体貸出も学校の依頼ですか。  
事務局 そうです。各学校からのリクエストの本を芦原図書館は毎月交換しています。金津図書館は2か月に1回交換しています。
- 委員 B 以前、ある小学校で学級文庫を見たところ、中身について残念に思ったことがあります。図書館からの貸出を続けてほしいものです。

- 事務局 学校からのリクエストは教科書の内容に関連したものも多く、同じ時期に同じ本が要求されると対応に困ることがあります。教科に関係ある本は学校図書館で購入していただければよいのですが難しいようですね。
- 学校図書館の方には市の図書館から借りるようにと予算を減らされ、市の図書館もなかなか予算がとれず図書購入にはきびしいものがあります。
- 議長 ブックスタート事業の参加率はいかがですか。
- 課長 ブックスタートは根付いてきています。ブックスタートのプレゼントのバッグを持って図書館に来る子がとても増えています。今年度の参加率は現在のところ 81%です。
- 議長 例年 8 割くらいですね。
- 事務局 家庭の都合などで来られないということがあるのかもしれませんが。
- 委員 G 小さい子供は本が好きです。でも、親が図書館に連れてってこないという子もいます。祖父母が図書館に孫と行くようなイベントを図書館で企画してほしいと思います。
- 委員 C 金津図書館はせっかく新しくきれいになったに PR がたりないのではないのでしょうか。写真画像入りなどでもっと PR を行ったほうが良いと思います。
- 委員 C 芦原図書館はゆったりとしたスペースがないように思います。学習室が広々としてもったいないのではないのでしょうか。あの場所をうまく使えないのでしょうか。
- 事務局 芦原図書館の学習室は利用者が多いので無駄なスペースではありません。現在は学習室の一部に資料本専用の書架を入れて狭くなっています。
- 委員 D 芦原図書館を新しくする計画はないのか？
- 課長 財政的に大変苦しいものがあります。逆にどちらかという合理化という考え方が強く 1 館でいいのではと言われ気味です。
- 委員 D あわら市は観光ばかりでなく、もっと知育、教育の面で力を入れて人を育ててほしいものです。
- 議長 まちづくりという視点で図書館の充実をお願いしたいものです。
- 課長 金津図書館の前の道路は石畳風にする工事をおこなっています。目にみえるものとみえないものがあり、教育はすぐには結果が出ません。家庭教育が欠如してきています。子どもクラブも児童は減っているのに、利用者は増え続けて、行政の役割が増えてきています。
- 委員 F これも調査結果からですが、読書は 60% が役立つと答えています。大人になった時、読書は生きる力となってあらわれます。低学年の子どもが子どもクラブに行くのは、子供の数が少ないのでクラブへ行けば友達と遊べるというのがあります。
- 委員 C 自販機、給水器の設置を考えてほしいものです。湯のまち公民館、中央公民館の自販機が建物の外に出たのはなぜでしょうか。お年寄りが外まで出て買いに行くというのは雨や雪の時など大変危ないと思います。
- 課長 市では自販機の使用電気料ぐらいしかもらっていません。営利目的な物を公共の施設内に置いておくのはいかなものかというので施設外に出してあります。給水器に関しては検討します。
- 委員 C 司書の年代がかたよっているように思えます。どんな仕事でも、新人、中堅、ベテランがいて仕事も引き継がれていくのではないのでしょうか。バランス良くすることが大切だと思いますがいかがでしょうか。
- 課長 おっしゃる通りで、司書採用については申し入れをしています。

14 閉 会（議長に続き、事務局から閉会を告げる。）

.....